

補助金の活用事例

活用事例

01

若手農業者が挑戦する「トータルアグリカルチャー」プロジェクト

草野 真也 さん

若手農業者のつながりを作るとともに、農業者の悩み・課題の解決や地域農業の振興に向けて、「一般社団法人トータルアグリカルチャー」を設立しました。



活用事例

02

大仙市の発酵文化をいかした KOJI CLEAR の国内外展開事業

株式会社エス 代表取締役 秋元 衆平 さん

大仙市産の米・水・こうじを使用し、甘酒を進化させたノンアルコールの発酵飲料「KOJI CLEAR」を国内外の展示会で積極的に展開しながら、生産地である大仙市の認知向上を図りました。



活用事例

03

修英「夢」チャレンジプロジェクト

修英「夢」チャレンジプロジェクトの皆さん

秋田修英高校3年生の生徒有志が、北京オリンピック日本代表の向川桜子さんを講師に迎え、「夢を現実にするチカラ信じて」をテーマに、大曲市民会館を会場に講演会を開催しました。



活用事例

04

店舗出店×販売促進プロジェクト

大曲高校商業科販売促進プロジェクト
実行委員会の皆さん

大曲高校商業科3年生の生徒有志が、大仙市内を会場に行われた第145回秋田県産物交流会の「だいせん農食マルシェ」において、2日間にわたって、地元企業と共同開発した大仙市産の食材を使用した弁当などの販売促進活動に取り組みました。



活用事例

05

大仙市を漫画・イラスト文化の発信拠点に！「だいせんサブカルマーケット」プロジェクト

千葉 愛美(aimi) さん

大仙市に漫画やイラストの文化が根付くきっかけを作るとともに、市外から多くの方に大仙市へ来ていただいて地域を盛り上げるため、同人誌即売会「だいせんサブカルマーケット」の継続開催に向け、取り組んでいます。



活用事例

06

SDGsを推進！協和中生による譲渡会プロジェクト

協和中ふるさと盛り上げ隊の皆さん

協和中学校の生徒有志が、協和市民センター和ピアで開催された「協和は通過点じゃない。番外編」において、SDGsに向けた取組として、各家庭から集めた不要品や贈答品を欲しい人に提供する譲渡会を行いました。



だいせん Labo

(運営) 大仙市企画部若者チャレンジ推進室

大仙市佐野町 2-4 コミュニティスペース GATHER 内

0187-63-1689

young_challenge@city.daisen.lg.jp

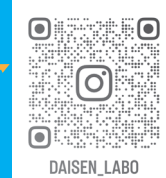
制度の詳細・

申請に必要な書類はこちらから



<https://www.city.daisen.lg.jp/docs/2022041800010/>

https://www.instagram.com/daisen_labo/



大仙市を舞台に チャレンジする若者を支援する

若者チャレンジ 応援補助金



補助対象事業

プロジェクトチャレンジ事業

地域の課題解決につながる起業(申請時点で起業後1年以内を含む)、プロフェッショナルになる夢の実現、地域の活性化に資するイベントの開催等、地域の元気の創出に相当の効果が見込める事業

CFチャレンジ事業

プロジェクトチャレンジ事業に準ずる取組内容で、CF(クラウドファンディング)※を利用して行う事業

※CF(クラウドファンディング)とは、インターネットを介して不特定多数の人々から資金を調達することをいいます。

ユースチャレンジ事業

プロジェクトチャレンジ事業に準ずる取組内容で、中学生・高校生・大学生等が課外活動として自ら主体となて行う事業

※年度内(3月31日まで)に事業を完了する必要があります。
※法令や公序良俗に反するもの、国・県・市など他の助成等を活用するもの、従来から行われている事業を継続して行うものなどは対象となりません。詳しくはお問い合わせください。

補助対象者

プロジェクトチャレンジ事業・CFチャレンジ事業

- ・申請年度の年齢が18歳以上40歳以下の個人(若者)
- ・過半数が若者で構成される団体
- ・若者が代表者となっている法人

※そのほかの要件として、市税に滞納がないこと、暴力団(員)ではないこと、暴力団(員)と密接な関係にある者でないことなど。詳しくはお問い合わせください。

ユースチャレンジ事業

中学生・高校生・大学生等(グループを含む)
※中学生・高校生の場合は、事業を管理する成年の責任者を置く必要があります。

補助金額

プロジェクトチャレンジ事業

上限100万円(補助対象経費の6分の5以内)

CFチャレンジ事業

上限40万円(CF調達金額の10分の2以内)

ユースチャレンジ事業

上限20万円

申請期限

10月31日まで

※事業開始まで余裕をもった早めのご相談をお願いします。



チャレンジのサポート窓口

「だいせんLabo」にまずはご相談ください！

だいせんLaboでは、大仙市内を舞台に、夢に向かって挑戦したいと考えている方、起業したい方、資格・特技を生かして何かしたいと考えている方、地域を元気にする取組を行いたい方など、皆さんのチャレンジについて、目標が達成できるよう一緒に考え、商工団体、金融機関、大学、企業などと連携しながらサポートを行います。

皆さんのチャレンジの始めの一歩として、まずはだいせんLaboへお気軽にご相談ください。

※あらかじめ電話やメールなどで相談日時等をご連絡ください。(連絡先は最終面に記載しています)
※相談シートをもとにお話を伺いますので、事前に相談シートを作成いただきますようお願いします。

相談シートはこちらからダウンロードしてください。



これまでのだいせんLaboへの相談内容

- ・運動に関する資格を活かして起業したい
- ・事業を拡大し、エアリアルヨガ教室を開きたい
- ・アートギャラリーを作りたい
- ・女性向けサロンを開設したい
- ・山をテーマに研究したい
- ・自身で開発した除雪器具を広めたい
- ・コーヒーをメインとしたカフェを開きたい
- ・雑貨店を開業したい
- ・大仙市を拠点に事業を展開したい など



補助対象経費

プロジェクトチャレンジ事業・ユースチャレンジ事業

事業の実施に必要な次の経費が対象となります。プロジェクトチャレンジ事業の場合は消費税を除きます。

建物の改修・修繕など 	店舗、事務所等の賃借料（敷金・礼金を除く） 	光熱水費 	通信運搬費 	備品の購入・リース・レンタル 	消耗品 	法人登記費用
人件費 (事業主・家族専従者に係る給与・手当等及び法人の場合における役員報酬を除く。雇用保険に加入している者に係る給与・手当等に限る。) 	会場使用料 	新製品・サービスの開発等に要する経費 	広告宣伝費 	旅費 	講師謝礼 	など

※詳細についてはお問い合わせください。

CFチャレンジ事業

CF運営者へ支払う手数料等(消費税を除く)



補助金交付までの流れ

01 交付申請

だいせんLaboに相談しながら申請書を作成

※10月31日までに
申請をお願いします。



02 審査から交付決定まで

プロジェクトチャレンジ事業

書面審査・面接審査
(1か月程度の期間を目安に審査を実施)

CFチャレンジ事業・ユースチャレンジ事業
書面審査

審査をもとに
交付決定



03 事業の実施

※CFチャレンジ事業については、CFを行っ
たうえで事業を実施

04 実績報告

事業完了後1か月以内または3月31日のい
ずれか早い日までに実績報告書を提出

05 補助金の交付

提出された実績報告書に基づき補助金の額
を確定し、補助金を交付



いつでも
ご相談ください！



申請から補助金交付までだいせんLaboがサポートします！